

指標の進捗状況（県土整備プラン2020）

資料1

- ・指標の令和6年度末時点の目標値に対する進捗状況については、44指標中37指標が達成若しくは前進となった。
- ・現時点で遅延している指標だけでなく、達成もしくは前進となっている指標を含めて現状を分析し、引き続き、効率的かつ効果的な事業進捗に向けてしっかりと取り組んで参りたい。

1. 指標進捗の評価区分について

動向の区分	説 明
達成 ◎	令和6年度末時点の目標値を達成し、順調に進捗している指標
前進 ○	令和6年度末時点の目標値を概ね達成している指標
遅延 ▲	令和6年度末時点の目標値に対して、10%以上の遅れが生じている指標

3. 各指標の進捗状況（全44指標）

番号	指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現							
施策1 緊急水害アクション（3か年緊急レジリエンス戦略）							
1	令和元年東日本台風で越水・溢水が生じた河川の堤防高上げの整備率	0% (R元年度末)	85% (R6年度末)	100% (R4年度末)	▲	100% (R4年度末)	
施策2 重点水害アクション（5か年重点レジリエンス戦略）							
2	甚大な被害が想定される利根川ほか5河川(5区間)の河川改修等の整備率	0% (R元年度末)	83.3% (R6年度末)	100% (R6年度末)	▲	100% (R6年度末)	
3	危機管理型水位計の整備率（県内全対象河川・339河川）	41% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
4	河川監視カメラの整備率（県内全対象河川・339河川）	11% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
施策3 防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）							
5	河川整備計画に基づく河川整備延長	39.4Km (R元年度末)	50.4Km (R6年度末)	51.1Km (R6年度末)	○	62.7Km (R11年度末)	
6	土砂災害対策推進計画に基づく重点要対策箇所の整備率	2% (R元年度末)	45% (R6年度末)	68% (R6年度末)	▲	100% (R11年度末)	
7	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備率	83% (R元年度末)	86% (R6年度末)	86% (R6年度末)	◎	94% (R11年度末)	
8	緊急輸送道路における落石等対策の進捗率	77% (R元年度末)	93% (R6年度末)	97% (R6年度末)	○	100% (R11年度末)	
9	水害リスクが軽減される人家戸数	8,819戸 (R元年度末)	29,393戸 (R6年度末)	32,603戸 (R6年度末)	○	35,400戸 (R11年度末)	
10	水害リスクが軽減される産業団地数	1団地 (R元年度末)	7団地 (R6年度末)	10団地 (R6年度末)	▲	11団地 (R11年度末)	
11	土砂災害リスクが軽減される人家戸数	約18,000戸 (R元年度末)	19,867戸 (R6年度末)	20,157戸 (R6年度末)	○	約21,600戸 (R11年度末)	
12	土砂災害リスクが軽減される要配慮者利用施設数	71施設 (R元年度末)	101施設 (R6年度末)	116施設 (R6年度末)	▲	116施設 (R6年度末)	
13	土砂災害リスクが軽減される避難所数	71施設 (R元年度末)	112施設 (R6年度末)	135施設 (R6年度末)	▲	135施設 (R6年度末)	
14	防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの強靱化率	80% (R元年度末)	80% (R6年度末)	80% (R6年度末)	◎	100% (R11年度末)	
施策4 避難のサポート（中長期レジリエンス戦略）							
15	水害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率	67% (R元年度末)	100% (R4年度末)	100% (R3年度末)	◎	100% (R3年度末)	
16	水害に係るマイ・タイムライン作成支援の進捗率	0% (R元年度末)	52% (R6年度末)	44% (R6年度末)	◎	100% (R11年度末)	
17	土砂災害警戒区域等の見直しの進捗率	38% (R元年度末)	100% (R3年度末)	100% (R3年度末)	○	100% (R3年度末)	
		0% (R2年度末)	54% (R6年度末)	55% (R6年度末)		100% (R8年度末)	
18	土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率	62% (R元年度末)	100% (R4年度末)	100% (R3年度末)	◎	100% (R3年度末)	
19	水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設数	0施設 (R元年度)	0施設 (R6年度末)	0施設 (R6年度末)	◎	0施設 (R11年度)	
20	土砂災害による死者数	4人 (R元年度)	0人 (R6年度末)	0人 (R6年度末)	◎	0人 (R11年度)	
政策2 持続可能で効率的なメンテナンス							
施策1 予防保全に基づく長寿命化							
21	長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
22	長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	

2. 指標の進捗状況について

達成 ◎		前進 ○		遅延 ▲		合計	
項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
25	56.8%	12	27.3%	7	15.9%	44	100.0%

番号	指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
23	長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
24	長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
25	長寿命化計画に基づく河川構造物補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
26	長寿命化計画に基づく砂防関係施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	99% (R6年度末)	100% (R6年度末)	○	100% (R6年度末)	
27	長寿命化計画に基づく都市公園(遊具・建築物)補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
28	長寿命化計画に基づく下水道施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
29	長寿命化計画に基づく県営住宅補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R6年度末)	100% (R6年度末)	◎	100% (R6年度末)	
政策3 多様な移動手段の確保							
施策1 公共交通網の整備・維持							
30	公共交通（鉄道・乗合バス）の利用者数	6,308万人 (H30年度)	5,683万人 (R5年度)	6,308万人の維持 (R5年度)	○	6,308万人の維持 (R11年度)	政策5 施策3に再掲
施策2 自転車交通網の整備							
31	高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率	84% (R元年度末)	88% (R6年度末)	88% (R6年度末)	◎	96% (R11年度末)	
32	主要渋滞箇所の対策率	29% (R元年度末)	40% (R6年度末)	41% (R6年度末)	○	49% (R11年度末)	
33	インターチェンジから15分圏域の県人口カバー率	76% (R元年度末)	77% (R6年度末)	77% (R6年度末)	◎	80% (R11年度末)	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備							
34	通学路の歩道整備率	85% (R元年度末)	85% (R6年度末)	85% (R6年度末)	◎	100% (R11年度末)	
35	中高生の通学経路における自転車通行空間の整備率	13% (R元年度末)	94% (R6年度末)	66% (R6年度末)	◎	100% (R11年度末)	
36	高校生の自転車用ヘルメットの着用率	7% (H30年度)	70.9% (R6年度末)	28% (R6年度末)	◎	100% (R11年度)	
37	交通人身事故発生件数(令和元年の件数に対する減少率)	11,831件 (R元年)	23%減 (R5年)	25%減 (R5年)	○	50%以上減 (R11年)	
政策4 住み続けられるまちづくり							
施策1 適正な土地利用によるまちのまとまりの維持							
38	立地適正化計画策定市町村数	9市町村 (R元年度末)	13市町村 (R6年度末)	14市町村 (R6年度末)	○	18市町村 (R11年度末)	
39	市街化区域内人口密度	68.1人/ha (R元年度末)	67.2人/ha (R6年度末)	60人/ha以上の維持 (R6年度末)	◎	60人/ha以上の維持 (R11年度末)	
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり							
40	土地区画整理完了率	82% (R元年度末)	86% (R6年度末)	86% (R6年度末)	◎	91% (R11年度末)	
41	住宅の耐震化率	87% (R元年度末)	90% (R6年度末)	94% (R6年度末)	○	95% (R7年度末)	
42	耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率	62% (R元年度末)	73% (R6年度末)	89% (R6年度末)	▲	95% (R7年度末)	
政策5 美しく良好な環境の保全							
施策2 健全な水循環の維持・回復							
43	汚水処理人口普及率	81.8% (R元年度末)	85.8% (R6年度末)	87.2% (R6年度末)	○	91.7% (R9年度末)	
44	公共用水域環境基準値達成率（河川：BOD※75%値）	85% (R元年度末)	87.5% (R6年度末)	87.5% (R6年度末)	◎	90% (R11年度末)	

指標 1

令和元年東日本台風で越水・溢水が生じた河川の堤防嵩上げの整備率

●現在の状況及び課題

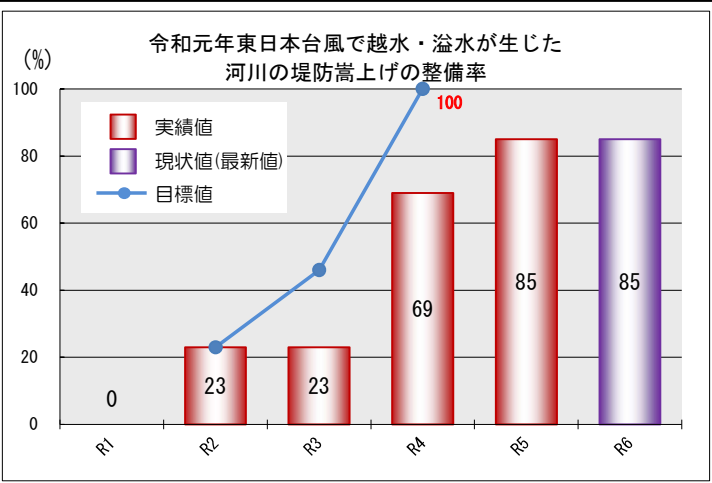
令和元年東日本台風により越水・溢水が生じた13箇所について、越水・溢水させない緊急対策は全箇所です完了し、堤防嵩上げは地元意見等を踏まえ計画を見直して改修を進めている2箇所を除き全て完了したが、指標の進捗に遅れが生じている。
(現状値：85％／目標値：100％)

●今後の取り組み予定

残る2箇所（鏑川及び雄川）は計画を見直して改修を進めており、令和元年東日本台風による越水・溢水にも対応した改修を、引き続き、推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	23	23	69	85	85
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 5

河川整備計画に基づく河川整備延長

●現在の状況及び課題

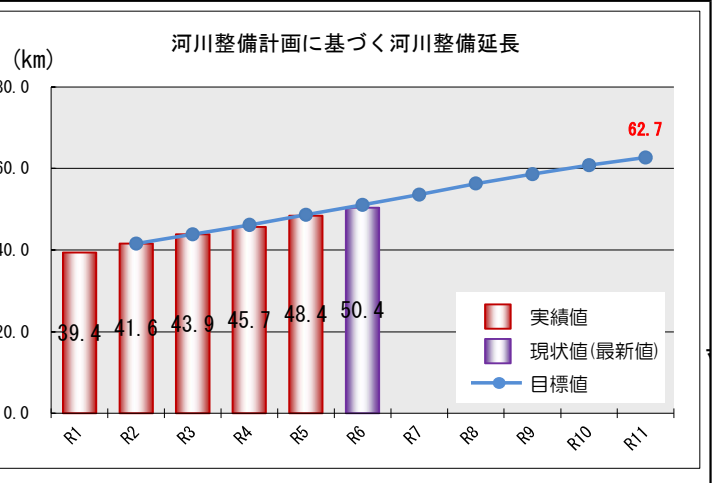
河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備等を推進しており、令和6年度は、大川や八瀬川等の整備を推進し、延長2.0kmの整備が完了したが、碓氷川において、用地交渉が難航しており用地取得に時間を要していることなどにより、指標の進捗はやや遅れている。
(現状値：50.4km／目標値：51.1km)

●今後の取り組み予定

早期の用地取得をに努めるとともに、国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：km]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
39.4	41.6	43.9	45.7	48.4	50.4
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 2

甚大な被害が想定される利根川ほか5河川(5区間)の河川改修等の整備率

●現在の状況及び課題

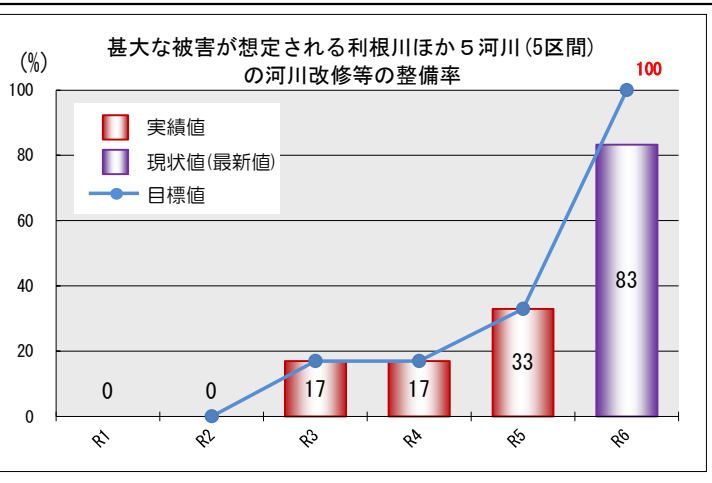
甚大な被害が想定される地域において、河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備、調節池整備を推進しており、令和6年度は、大川や八瀬川等の整備が完了したが、休泊川において、橋梁の架け替えに時間を要したことから、指標の進捗に遅れが生じている。
(現状値：83％／目標値：100％)

●今後の取り組み予定

国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、甚大な被害が想定される河川の河川改修等を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0	17	17	33	83
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 6

土砂災害対策推進計画に基づく重点要対策箇所の整備率

●現在の状況及び課題

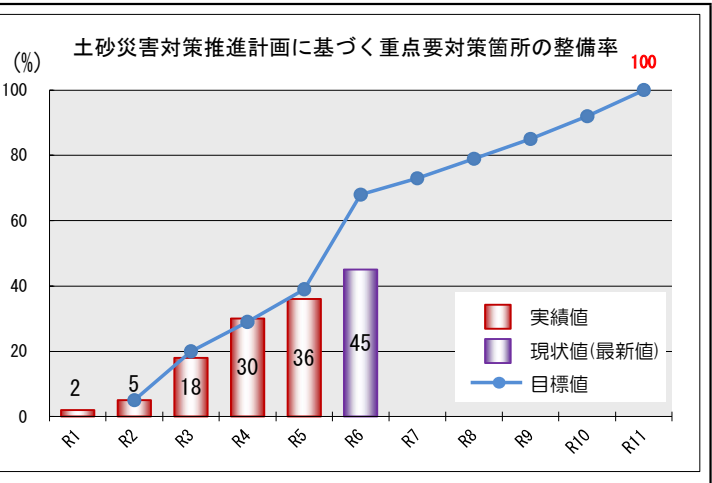
保全対象の重要性や地形条件などから優先度を判断し、砂防施設の整備を進めているが、用地取得の難航などにより、指標の進捗に遅れが生じている。
(現状値：45％／目標値：68％)

●今後の取り組み予定

早期の用地取得に努めるとともに、国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、重点要対策箇所の整備を推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
2	5	18	30	36	45
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 3

危機管理型水位計の整備率（県内全対象河川・339河川）

●現在の状況及び課題

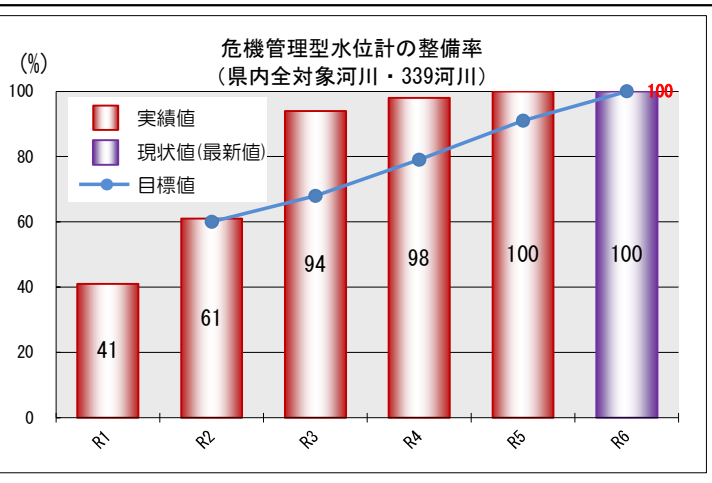
住民が「自ら逃げる」という主体的な行動がとれるよう、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、水位計の整備を重点的に推進した結果、令和5年度までに339河川の整備が完了した。
(現状値：100％／目標値：100％)

●今後の取り組み予定

整備した水位計の維持管理を適切に行うとともに、住民の主体的な避難行動を促す水位情報の提供を、引き続き行う。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
41	61	94	98	100	100
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 7

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備率

●現在の状況及び課題

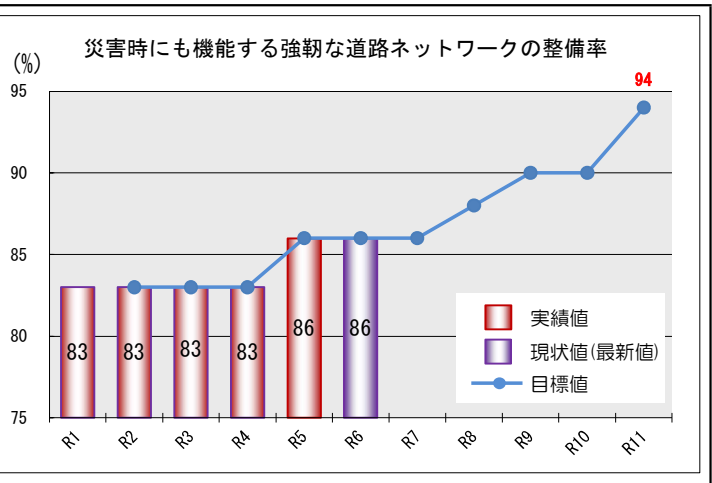
重要物流道路・代替補完路等の整備より、災害時にも機能する強靱な道路ネットワーク。
(現状値86％／目標値86％)

●今後の取り組み予定

今後も県土整備プランに基づき、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
83	83	83	83	86	86
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 4

河川監視カメラの整備率（県内全対象河川・339河川）

●現在の状況及び課題

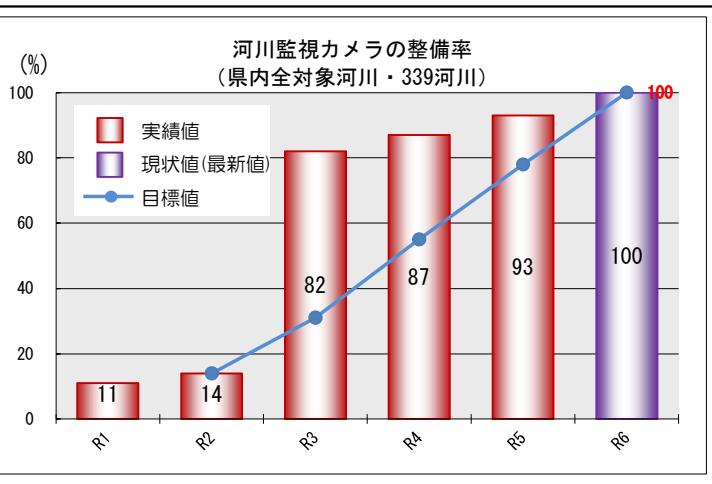
住民が「自ら逃げる」という主体的な行動がとれるよう、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、河川監視カメラの整備を重点的に推進した結果、令和6年度までに339河川の整備が完了した。
(現状値：100％／目標値：100％)

●今後の取り組み予定

整備した河川監視カメラの維持管理を適切に行うとともに、住民の主体的な避難行動を促す情報の提供を、引き続き行う。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
11	14	82	87	93	100
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 8

緊急輸送道路における落石等対策の進捗率

●現在の状況及び課題

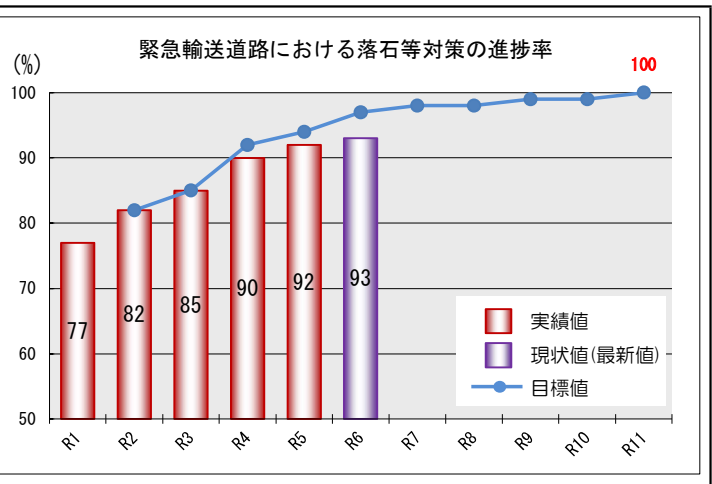
緊急輸送道路上にある「要対策箇所」564箇所の法面对策工事を重点的に推進し、令和4年度末までに第1次緊急輸送道路上の対策が完了するなど計522箇所の対策が完了したが、関係機関との協議に時間を要したことなどにより、指標の進捗はやや遅れている。
(現状値93％／目標値97％)

●今後の取り組み予定

今後も適切な工程管理により計画的に対象事業を進捗させるとともに、国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、緊急輸送道路が落石等により寸断しないよう、危険箇所の解消に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
77	82	85	90	92	93
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 9

水害リスクが軽減される人家戸数

●現在の状況及び課題

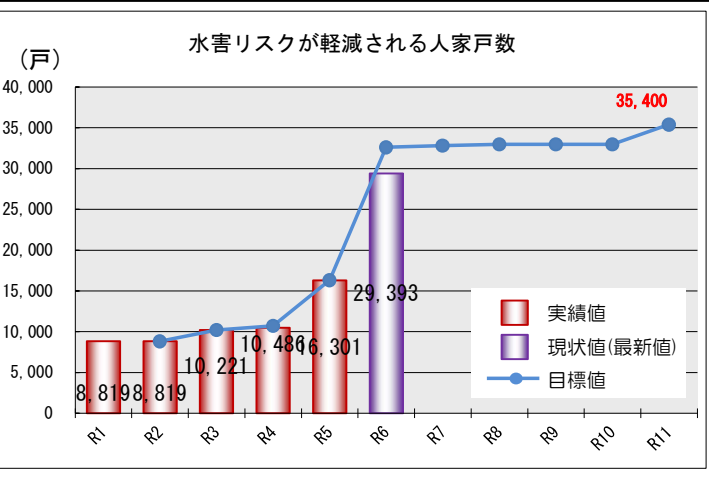
令和6年度は、約2.0kmの河川整備を行い、大川、八瀬川等の整備事業が完了したが、碓氷川及び休泊川において、用地交渉の難航や橋梁の架け替えに時間を要したことなどにより、指標の進捗はやや遅れている。
(現状値：29,393戸／目標値：32,603戸)

●今後の取り組み予定

国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進して、水害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：戸]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
8,819	8,819	10,221	10,486	16,301	29,393
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 13

土砂災害リスクが軽減される避難所数

●現在の状況及び課題

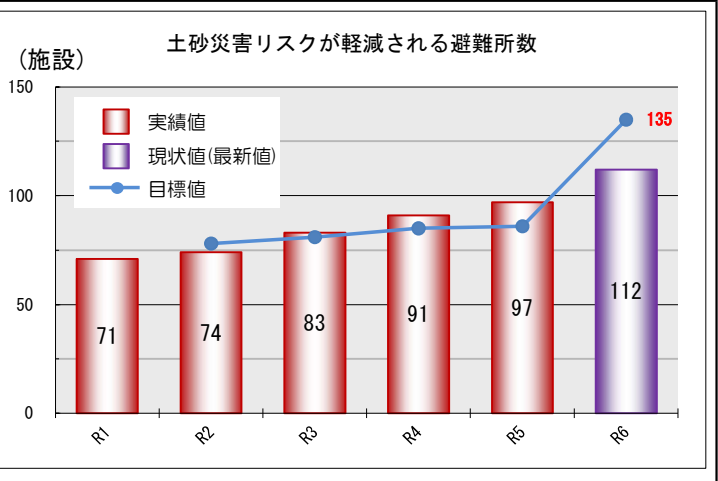
土砂災害警戒区域内等に人家が集中する箇所や要配慮者利用施設、避難所がある箇所などで優先的に砂防施設の整備を進めているが、用地取得の難航などにより、指標の進捗に遅れが生じている。
(現状値：112施設／目標値：135施設)

●今後の取り組み予定

早期の用地取得に努めるとともに、国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、砂防施設の整備を推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
71	74	83	91	97	112
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 10

水害リスクが軽減される産業団地数

●現在の状況及び課題

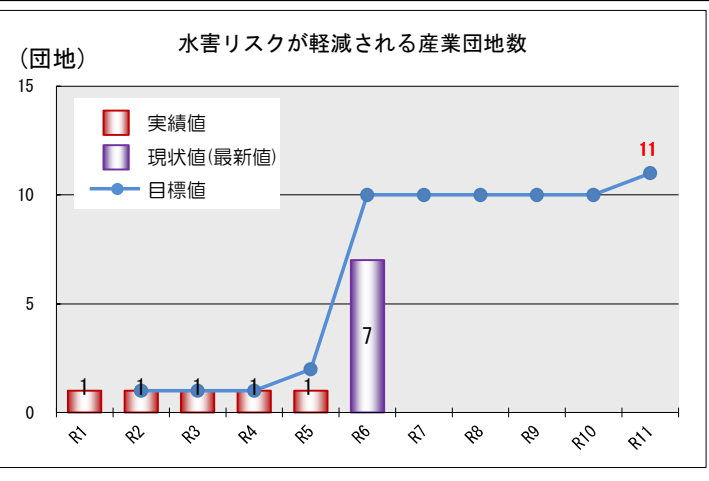
令和6年度は、利根川や蚊沼川放水路の河川改修を推進したが、碓氷川及び休泊川において、用地交渉の難航や橋梁の架け替えに時間を要したことなどにより、指標の進捗はやや遅れている。
(現状値：7団地／目標値：10団地)

●今後の取り組み予定

国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進して、水害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：団地]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
1	1	1	1	1	7
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 14

防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの強靱化率

●現在の状況及び課題

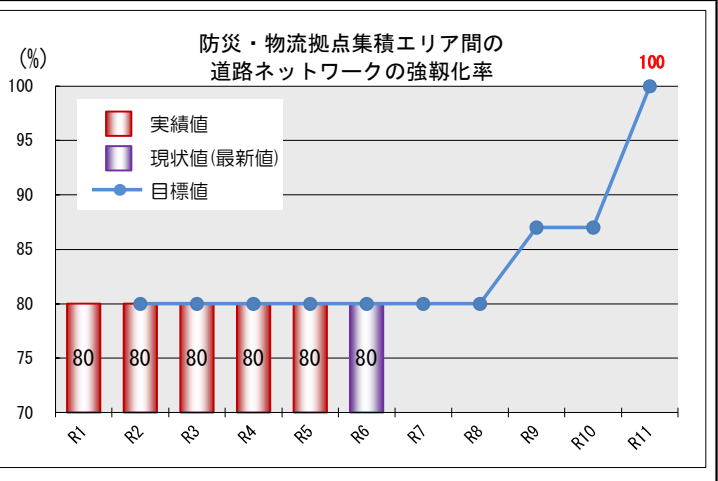
上信自動車道や西毛広域幹線道路等の防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの安全性が向上する道路の整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：80% / 目標値：80%)

●今後の取り組み予定

今後も県土整備プランに基づき、防災・物流拠点集積エリアを結ぶ道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
80	80	80	80	80	80
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 11

土砂災害リスクが軽減される人家戸数

●現在の状況及び課題

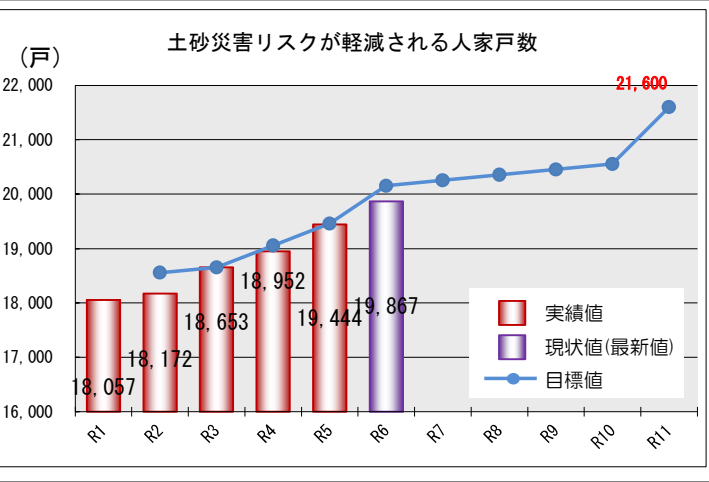
土砂災害警戒区域内等に人家が集中する箇所や要配慮者利用施設、避難所がある箇所などで優先的に砂防施設の整備を進めているが、用地取得の難航などにより、指標の進捗にやや遅れが生じている。
(現状値：19,867戸／目標値：20,157戸)

●今後の取り組み予定

早期の用地取得に努めるとともに、国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、砂防施設の整備を推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：戸]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
18,057	18,172	18,653	18,952	19,444	19,867
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 15

水害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

●現在の状況及び課題

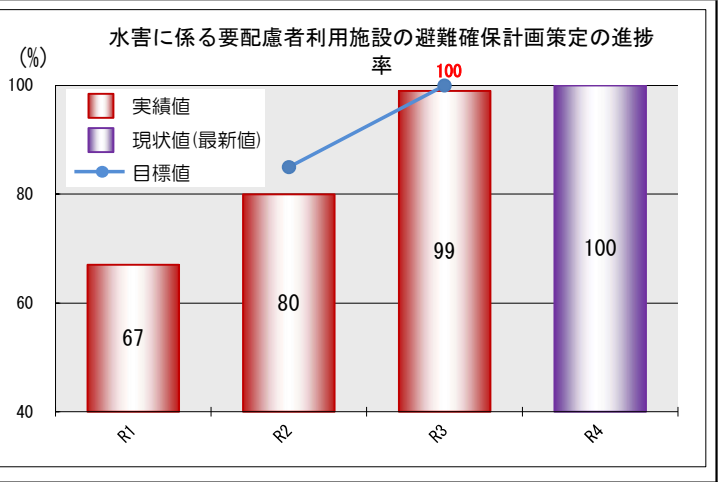
市町村と連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援等を実施した結果、避難確保計画の策定率は、令和4年7月で策定率100%を達成した。
(現状値：100%／目標値：100%)

●今後の取り組み予定

引き続き、市町村と連携し、避難訓練の支援等により、要配慮者利用施設への避難支援に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
67	80	99	100		
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 12

土砂災害リスクが軽減される要配慮者利用施設数

●現在の状況及び課題

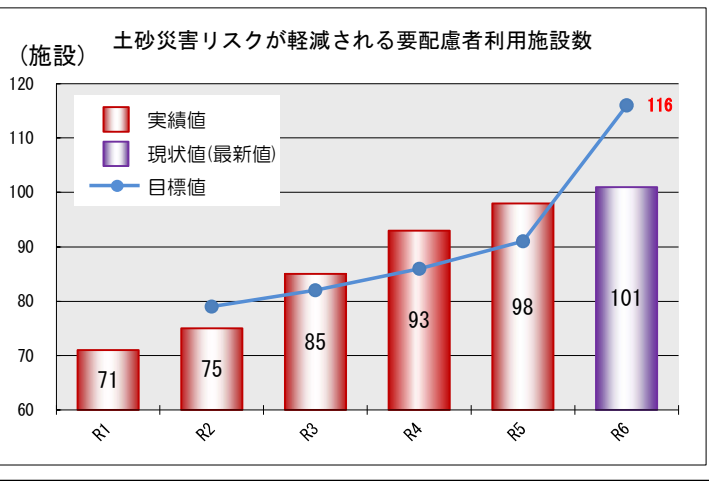
土砂災害警戒区域内等に人家が集中する箇所や要配慮者利用施設、避難所がある箇所などで優先的に砂防施設の整備を進めているが、用地取得の難航などにより、指標の進捗に遅れが生じている。
(現状値：101施設／目標値：116施設)

●今後の取り組み予定

早期の用地取得に努めるとともに、国が進める「国土強靱化実施中期計画」等を積極的に活用し、砂防施設の整備を推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
71	75	85	93	98	101
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 16

水害に係るマイ・タイムライン作成支援の進捗率

●現在の状況及び課題

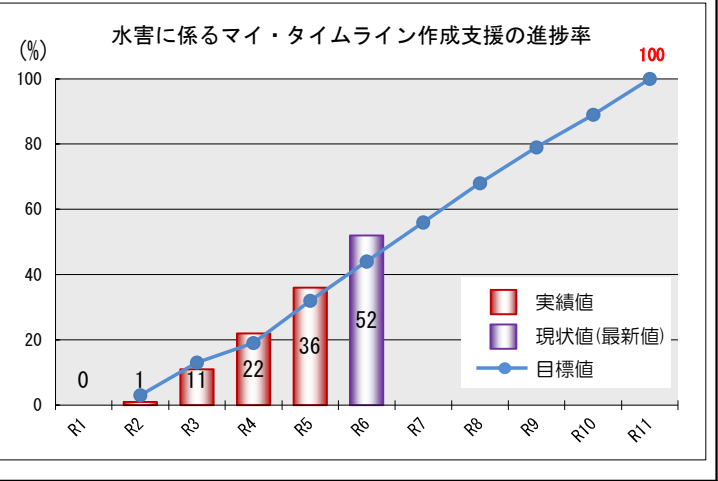
市町村と連携し、マイ・タイムラインの作成に係るモデル地区の講習会を、これまでに対象の32市町村すべてで実施した。また、市町村担当者が実施する講習会の支援を継続し、その進捗も順調に推移している。
(現状値：52%／目標値：44%)

●今後の取り組み予定

引き続き、モデル地区の講習会を行い、市町村担当者に支援方法を確認してもらうことで作成支援の拡大を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	1	11	22	36	52
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 17 土砂災害警戒区域等の見直しの進捗率

●現在の状況及び課題

2巡目の土砂災害警戒区域等の見直し（砂防基礎調査）については、令和3年度末において、対象の27市町村全てで完了した。（現状値：100％／目標値：100％）

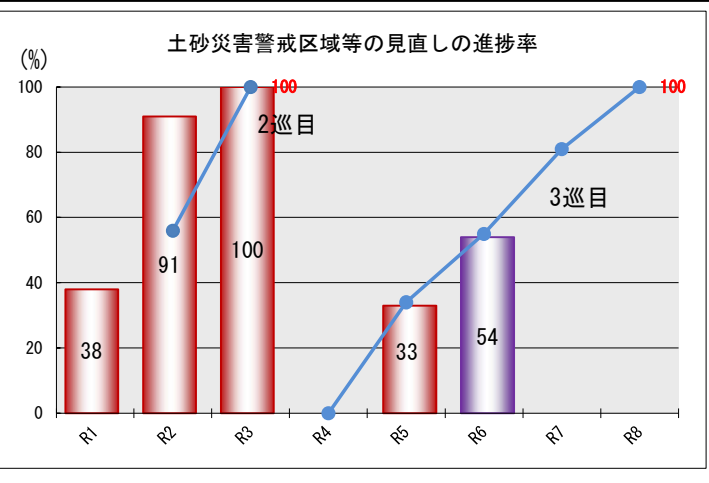
令和3年度から3巡目の見直しを実施しており、令和6年度末において10市町村で調査を完了したが、調査対象区域が増加したことにより、指標の進捗はやや遅れている。

（現状値：54％／目標値：55％）

●今後の取り組み予定

市町村等とより一層の連携を図り、効率的に調査を進めていく。令和7年度は25市町村で調査を進め、令和8年度までに既指定区域の見直しを完了させる。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
38	91	100	0	33	54
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 21 長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率

●現在の状況及び課題

「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な横断歩道橋の補修を実施している。令和6年度までに、劣化が著しく緊急的な対策が必要な38箇所の補修が完了し、指標の進捗は順調に推移している。

（現状値：100％／目標値：100％）

●今後の取り組み予定

引き続き、横断歩道橋を長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	37	66	87	95	100
	R7	R8	R9	R10	R11

長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率

年度	実績値	目標値
R1		
R2	37	
R3	66	
R4	87	
R5	95	
R6	100	100

指標 18 土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

●現在の状況及び課題

市町村と連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援等を実施した結果、避難確保計画の策定率は、令和4年7月で100％を達成している。

（現状値：100％／目標値：100％）

●今後の取り組み予定

引き続き、市町村と連携し、避難訓練の支援等により、要配慮者利用施設への避難支援に取り組む。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
62	91	99	100		
	R7	R8	R9	R10	R11

土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

年度	実績値	目標値
R1	62	
R2	91	
R3	99	100
R4	100	

指標 22 長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率

●現在の状況及び課題

「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的なトンネルの補修を実施している。令和4年度までに、劣化が著しく緊急的な対策が必要な14箇所の補修が完了し、目標を達成している。

（現状値100％／目標値：100％）

●今後の取り組み予定

引き続き、トンネルを長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理を実施する。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	50	57	100	100	100
	R7	R8	R9	R10	R11

長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率

年度	実績値	目標値
R1		
R2	50	
R3	57	
R4	100	
R5	100	
R6	100	100

指標 19 水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設数

●現在の状況及び課題

要配慮者利用施設の避難確保計画の策定を支援することで、適切な避難を行ってもらよう取り組んでおり、令和6年度は水害による人的被害の発生はなかった。

（現状値：0施設／目標値：0施設）

●今後の取り組み予定

引き続き、要配慮者利用施設における避難訓練の支援等に取り組む。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0	0	0	0	0
	R7	R8	R9	R10	R11

水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設

年度	実績値	目標値
R1	0	
R2	0	
R3	0	
R4	0	
R5	0	
R6	0	
R7	0	
R8	0	
R9	0	
R10	0	
R11	0	

指標 23 長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率

●現在の状況及び課題

「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な舗装修繕を実施している。令和5年度までに、劣化が著しく緊急的な対策が必要な約188kmの舗装修繕が完了し、目標を達成している。

（現状値：100％／目標値：100％）

●今後の取り組み予定

令和6年度は、路面性状調査と舗装修繕約36kmを実施する予定であり、引き続き、計画的な維持管理を実施する。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	30	54	82	100	100
	R7	R8	R9	R10	R11

長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率

年度	実績値	目標値
R1		
R2	30	
R3	54	
R4	82	
R5	100	
R6	100	100

指標 20 土砂災害による死者数

●現在の状況及び課題

「土砂災害対策推進計画2021」に基づく砂防施設の整備や「逃げ遅れゼロ」に向けた住民の避難行動を促進するソフト対策に取り組んでおり、令和5年度の土砂災害による死者はなかった。

（現状値：0人／目標値：0人）

●今後の取り組み予定

引き続き、ハード・ソフトが一体となった土砂災害対策に取り組むことで、住民の確実な避難につなげていく。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
4	0	0	0	0	0
	R7	R8	R9	R10	R11

土砂災害による死者数

年度	実績値	目標値
R1	4	
R2	0	
R3	0	
R4	0	
R5	0	
R6	0	
R7	0	
R8	0	
R9	0	
R10	0	
R11	0	

指標 24 長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率

●現在の状況及び課題

「群馬県橋梁長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・補修を実施している。令和6年度は、22橋の補修を完了し、指標の進捗は順調に推移している。

（現状値：100％／目標値：100％）

●今後の取り組み予定

令和7年度以降も引き続き、計画的な維持管理・更新を進める。

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	32	58	86	94	100
	R7	R8	R9	R10	R11

長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率

年度	実績値	目標値
R1		
R2	32	
R3	58	
R4	86	
R5	94	
R6	100	100

4

指標 33

インターチェンジから15分圏域の県人口カバー率

●現在の状況及び課題

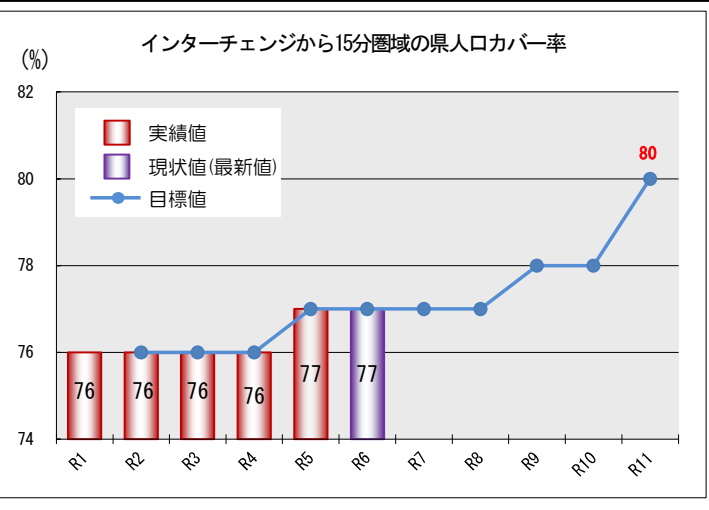
上信自動車道や西毛広域幹線道路等の高速交通網を補完する路線の整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：77％／目標値：77％)

●今後の取り組み予定

今後も県土整備プランに基づき、広域道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
76	76	76	76	77	77
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 37

交通人身事故発生件数(令和元年の件数に対する減少率)

●現在の状況及び課題

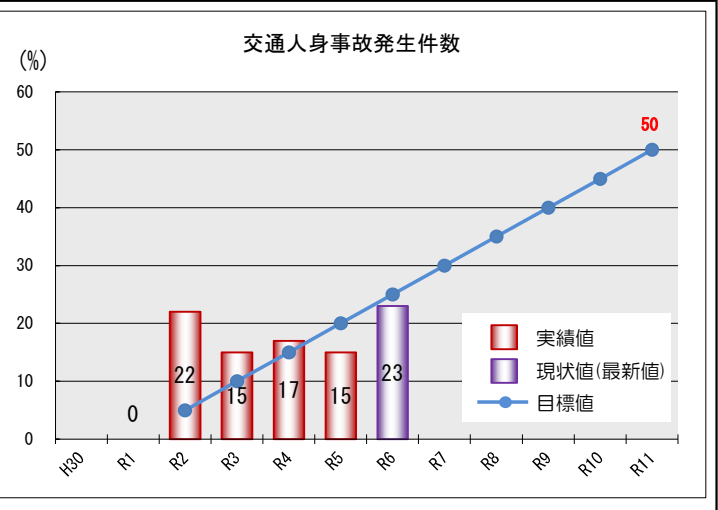
歩道や自転車通行空間の整備、交通安全運動などの取組を実施し、交通人身事故発生件数は一昨年比で減少したが、指標の目標達成には至らなかった。(R6：9,059件／R元年：11,831件)(現状値：23％減／目標値：25％減)

●今後の取り組み予定

加害者、被害者ともに高齢者の割合が高いため、高齢者に対する交通安全教育に取り組んでいく。
また、中高生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が全国ワースト1位(令和6年)であるため、矢羽根型路面表示の整備や自転車事故多発箇所への看板設置等を推進するとともに、自転車保険義務化、ヘルメット着用促進、自転車と自動車の双方へ確実な一時停止を呼びかけるなど出会い頭事故の削減に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	22	15	17	15	23
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 34

通学路の歩道整備率

●現在の状況及び課題

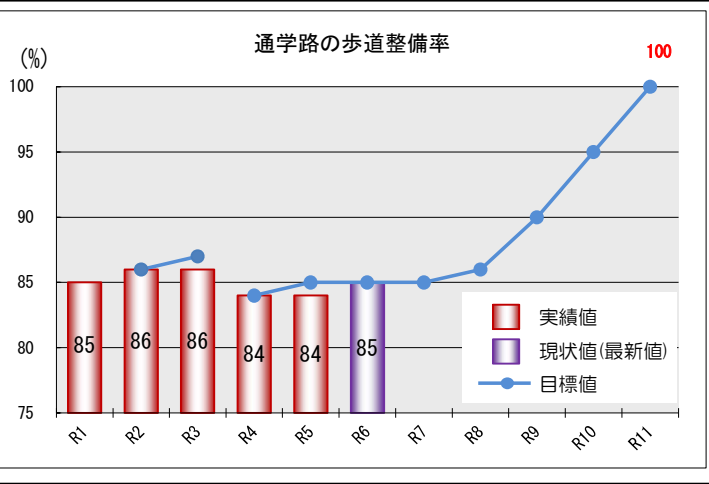
児童の通学時の安全を確保するため法指定通学路の整備を優先し、令和6年度は、県道三夜沢国定停車場線深津工区などで歩道整備を推進した。法指定通学路724.3kmのうち令和6年度に完了した約11kmを含む606.6kmの整備が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：85％／目標値：85％)

●今後の取り組み予定

今後も適切な工程管理を行うとともに、法指定通学路724.3kmを対象に、整備手法の検討を行った上で、目標達成に向け、計画的に歩道整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
85	86	86	84	84	85
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 38

立地適正化計画策定市町村数

●現在の状況及び課題

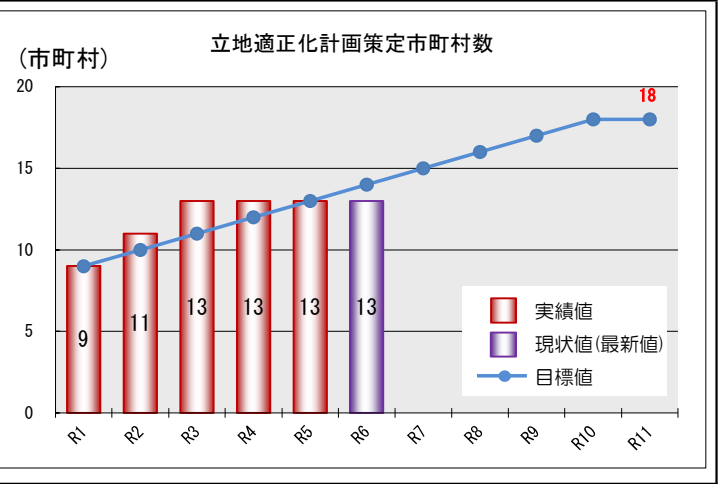
計画策定に着手した13市町のうち、令和6年度末までに、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、富岡市、明和町、邑楽町、藤岡市、吉岡町、渋川市、千代田町の全てが計画策定を完了し公表した。目標値に対して1市町村不足したが、令和7年度中に沼田市をはじめ5市町で公表を予定している。
(現状値：13市町／目標値：14市町)

●今後の取り組み予定

県は、未策定市町村に対する働きかけを継続しつつ、令和7年度以降に策定に取り組む市町村に対する支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：市町村]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
9	11	13	13	13	13
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 35

中高生の通学経路における自転車通行空間の整備率

●現在の状況及び課題

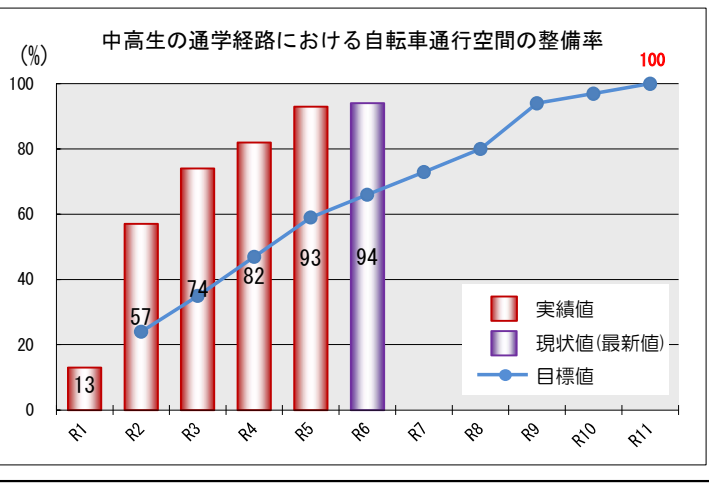
中高生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が全国ワースト1位(令和5年)であることから、中高生の通学する自転車通行空間を優先し、令和6年度は、県道桐生伊勢崎線などで自転車通行空間の整備を推進した。自転車ネットワーク路線における中高生の通学経路170kmのうち160.3kmの整備が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：94％／目標値：66％)

●今後の取り組み予定

引き続き、中高生の通学する自転車通行空間の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
13	57	74	82	93	94
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 39

市街化区域内人口密度

●現在の状況及び課題

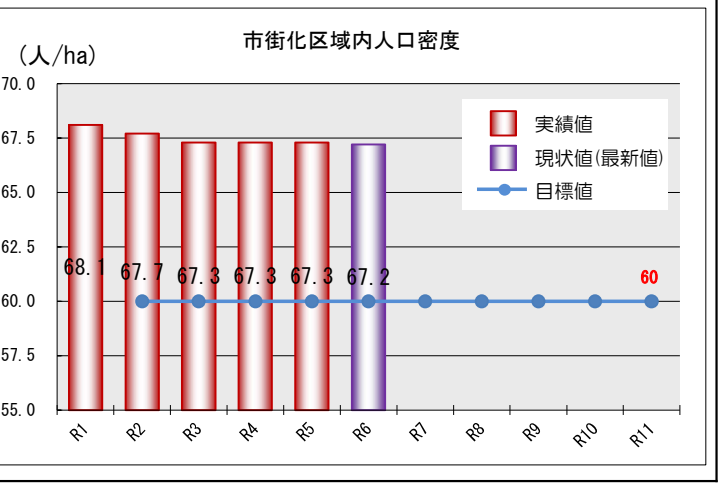
県内各都市の中心市街地において、全般的に人口減少が進行している傾向にあるため、平成30年度に対して令和6年度は人口密度が微減となっているが、ほぼ横ばいを維持している。
(現状値：67.2人/ha／目標値：60人/ha以上の維持)

●今後の取り組み予定

今後も、県と市町村で協力して、立地適正化計画の居住誘導区域の設定や市街化調整区域の地区計画など郊外の土地利用規制を組み合わせ、 「まちのまとまりづくり」を進める。

●指標における実績値の推移 [単位：人/ha]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
68.1	67.7	67.3	67.3	67.3	67.2
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 36

高校生の自転車用ヘルメットの着用率

●現在の状況及び課題

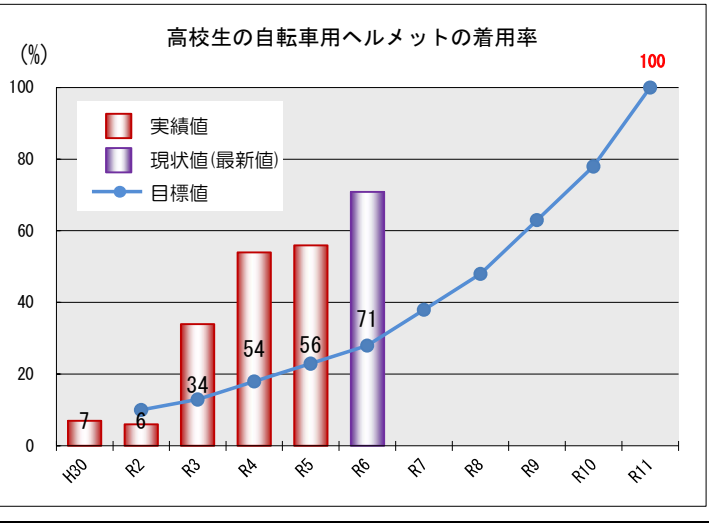
高校生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が10年連続で全国ワースト1位であり、高校生の自転車事故が多いことから、事故発生時の重傷化を防止するため、ヘルメット着用促進を図っている。高校生を対象とした無記名でのアンケートを実施した結果、約26,000人の回答のうち「ヘルメットを着用している」と回答したのは約71％であり、指標の進捗は計画を大幅に上回っている。
(現状値：71％／目標値：28％)

●今後の取り組み予定

各高校に、県庁職員で構成した自転車活用推進啓発チーム「GME T」を派遣して、県警、市町村等と連携した着用啓発を行い、着用率向上に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

H30 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
7	6	34	54	56	71
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 40

土地区画整理完了率

●現在の状況及び課題

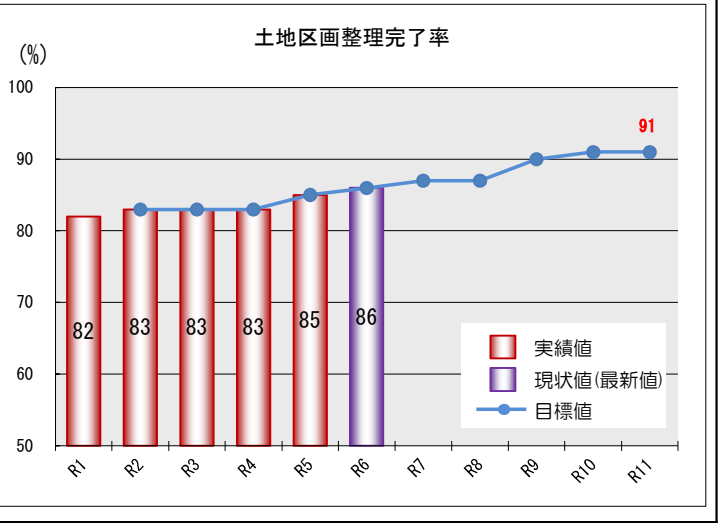
土地区画整理事業の事業主体である市町村や組合に対する指導や助言、整備費用に対する財政的支援を行うことで、健全な市街地の形成と快適な居住環境の整備に資する土地区画整理事業を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：86％／目標値：86％)

●今後の取り組み予定

引き続き、事業主体である市町村や組合に対する支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
82	83	83	83	85	86
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 41

住宅の耐震化率

●現在の状況及び課題

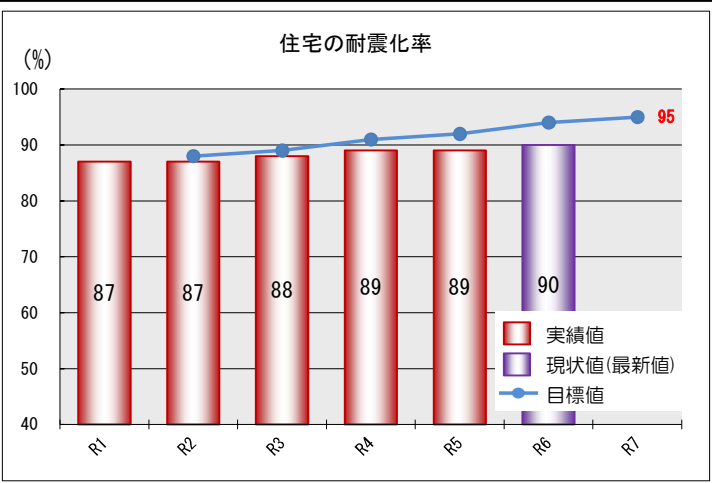
住宅の耐震化の促進に向け、市町村への支援を継続して実施しており、現在26の市町村が耐震改修補助事業を設けているが、耐震改修に係る所有者の費用負担が大きい等の理由から、指標の進捗はやや遅れている。(現状値：90％／目標値：94％)

●今後の取り組み予定

木造住宅を所有する高齢者など、ターゲットを定め、ターゲットに合わせた普及啓発を行っていく。また、本県では低コストの耐震改修が普及していないため、建築士、施工者を対象にした低コスト耐震改修講習会を開催する等、耐震改修のプレイヤーを育成する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
87	87	88	89	89	90
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 42

耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率

●現在の状況及び課題

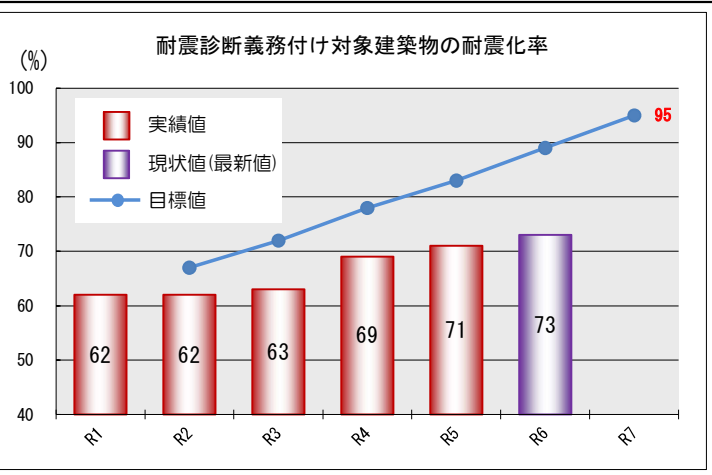
建築物の耐震改修の促進に関する法律により、耐震診断の実施が義務付けられている大規模な旅館・ホテル等や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進するため、市町村と協調して耐震改修に対する補助を行っている。しかし、新型コロナウイルスの影響による事業者の経営状況の悪化等により、耐震改修工事が延期となり、指標の進捗は遅れている。(現状値：73％／目標値：89％)

●今後の取り組み予定

耐震性が不十分な建築物の所有者に対して個別訪問、メール及び電話連絡等により定期的にヒアリングを行い、所有者の状況に応じて必要とされる適切な情報を提供し、市町村と県による協調補助制度を活用した耐震診断、耐震補強設計及び耐震改修の実施を促す。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
62	62	63	69	71	73
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 43

汚水処理人口普及率

●現在の状況及び課題

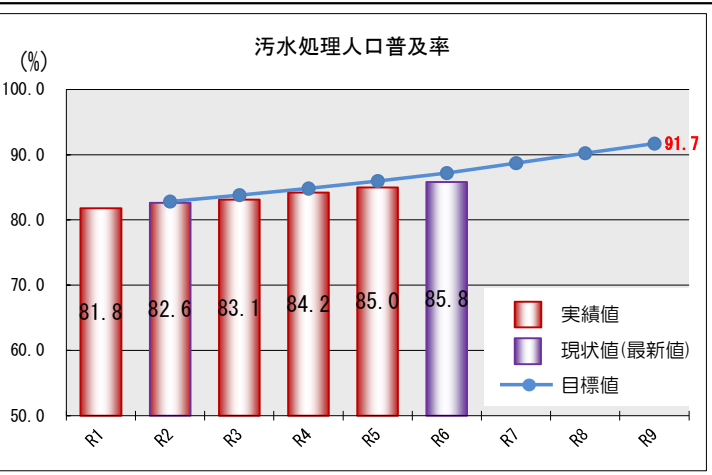
県と市町村は、下水道や合併処理浄化槽など汚水処理施設の整備を推進しているが、主に市町村による下水道整備と単独浄化槽等から合併処理浄化槽への転換が伸び悩み、指標の進捗が若干遅れている。(現状値：85.8％／目標値：87.2％)

●今後の取り組み予定

令和4年度に改定した「群馬県汚水処理計画」に基づき、県と市町村が連携して、下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスを推進する。同時に、広域化・共同化を進め、より効率的・効果的な普及率向上施策を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
81.8	82.6	83.1	84.2	85.0	85.8
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 44

公共用水域環境基準値達成率（河川：BOD※75%値）

●現在の状況及び課題

汚水処理施設の整備などにより、令和6年度末時点では指標の目標値を達成している。

汚水処理施設の整備は、公共用水域の水質に影響する要因の一つであるため、引き続き、整備・管理を推進する必要がある。

(現状値：87.5％／目標値：87.5％)

●今後の取り組み予定

生活排水の川などへの流入に起因する水質悪化を防ぐため、県と市町村が連携し、更なる汚水処理施設の整備や広報を推進することで、公共用水域の水質を改善していく。

●指標における実績値の推移 [単位：％]

R1 (初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
85	82.5	85.0	82.5	85.0	87.5
	R7	R8	R9	R10	R11

